

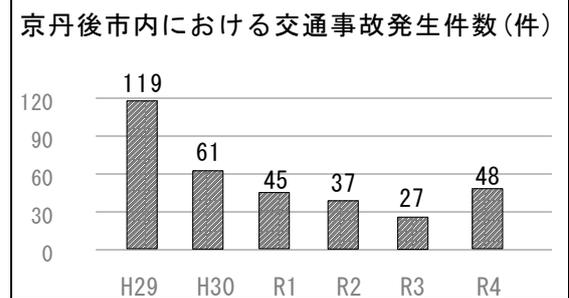
# 京丹後署管内における 令和4年中の交通事故情勢



## 令和4年中における交通事故発生状況とその特徴

京丹後市内において、昨年1年間に発生したケガのある事故は48件で、昨年から大幅に増加しました。また交通事故により、2人の尊い命が失われています。他にも、一歩間違えば命を落としかねないような交通事故も発生しています。今一度ご自身の運転や行動を振り返り、安全なものかどうか考えてみてください。

- 昨年発生した交通事故の特徴は、
- **国道178号**や**国道312号**が多い
  - **午後から夕暮れの時間帯**にかけて多い
  - **出合頭**や**追突事故**が事故全体の半数を占める



**危険！除雪車に近づかないで！**



雪が積もると、ホイルローダーなどの除雪車が通行し始めます。除雪車などの大型車は、普通車に比べて死角となる範囲が広く、車両の前後に加えて、タイヤの直近も死角となります。死角に入ると、運転席からは歩行者が見えなくなるので、除雪車がたとえ停止していても、絶対に近づかないでください。

## 5℃以上あるのに路面が凍結！？

気温が0℃を下回っていなくても、路面は凍結します。路面が雪に覆われていたり、常に日陰になっている場所などは、気温が5℃以上あっても凍結することがあります。気温に惑わされることなく、慎重な運転をお願いします。

## アイスバーンに要注意！！

凍結した路面(アイスバーン)は、スリップしやすく大変危険です。

- **ミラーアイスバーン**
  - ・・・車の往来により、雪が鏡のように凍結して滑りやすくなった路面
- **ブラックアイスバーン**
  - ・・・濡れているだけに見えて、薄い氷の膜が張っている凍結路面

一見凍っていないように見えるので要注意！



**急発進、急ブレーキ、急ハンドル**は命取りになります！  
**スピードは控えめに、十分な車間距離を保つ**ことを心掛けましょう。

## 歩行者・自転車に気をつけて！

雪が降り続けると、除雪された雪で道路幅が狭くなり、歩行者・自転車と車との距離が近くなります。

歩行者・自転車の動きに注意しながら、慎重な運転をお願いします。

